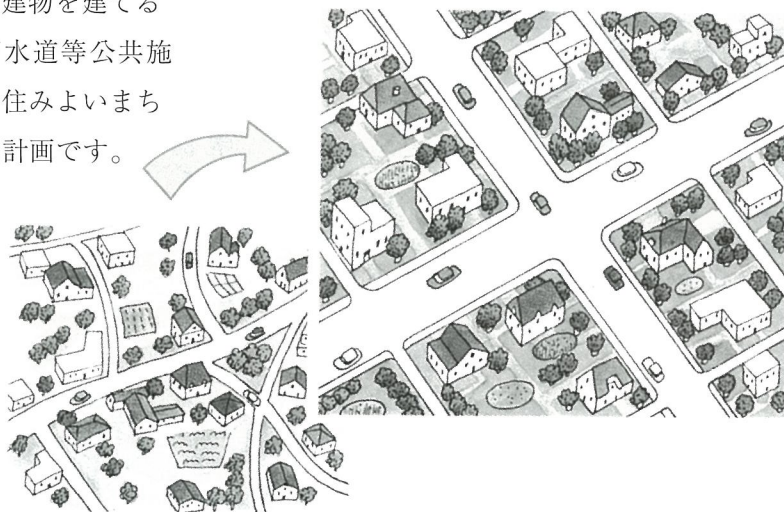


町では今、「都市計画」の策定を進めております。町民のみなさんに都市計画についての認識を深めていただきたく、これまで約1年間にわたり、都市計画の関する事柄を掲載してまいりました。

ここで改めて、「都市計画」とはなにか？なぜ「都市計画」が必要なのか？についてお知らせし、住みよいまちづくりについて、町民のみなさんとともに考えたいと思います。

・「都市計画」とは？

一言で表せば、「将来の町の姿を決める」ための計画です。建物を建てる際のルールや、道路や下水道等公共施設の整備計画を決めて、住みよいまちをつくっていかうとする計画です。



・なぜ「都市計画」が必要なのか？

まちは生きています。日々の変化は小さくても、10年後、20年後には、大きくその姿を変えています。私たちの暮らす横芝町も例外ではありません。松尾横芝ICの開設、圏央道の延伸、銚子連絡道の整備など、影響を受ける要素がたくさんあります。町がより良く変化＝発展するために、しっかりとした計画を建て、皆で協力してそれを実現させることが必要です。

何の規制もなく乱開発が進むと、日照・景観の障害、雑排水による農用水や河川の汚染、交通量増に伴う事故・騒音の多発など、住環境が悪化し、住みにくいまちになってしまう恐れがあります。それを防ぐため、「都市計画」で土地の利用方法にルールを定めたり、必要な公共施設の計画的な整備を進めます。健康で文化的・機能的な住みよいまちをつくっていくために、「都市計画」が必要となります。

今後も町民のみなさんのご協力をお願いします。

シリーズ「横芝町のまちづくり」
「まちは生きています」
No.13